

団体名		有限会社 武蔵野交流センター				
①	指標名	年間売上額			目標値	65,000千円
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:千円)	91,334	72,024	67,431	生鮮品の売れ残りの値引き販売や、薄利な価格設定などが原因で目標を達成できなかった。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(1)経営健全性の確保		
	設定理由等	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 令和2年6月の書面決議による株主総会において承認された金額により設定。また、令和元年度に変更した大量仕入れに伴う売れ残り処分を減少させる厚利少売の経営方針に基づき、引き続き安定した収支バランスを目指す。				
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・発注を出来るだけ抑え割引を無くし、設定価格で売り切る方法を今期も実践し、売上高のさらなる向上を目指す。 ・店内に顧客が入りやすい商品展示に工夫を行い(店頭に切り花等を置き目を引きやすくするなど)、売上高の向上を目指す。 ・リニューアルの際に作成したパンフレットを関係施設に配架し、店舗の周知を行うことで、新規顧客の誘致を行う。				
②	指標名	販売利益率			目標値	30.0%
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:%)	23.7%	23.2%	27.8%	経営方針を厚利少売に見直したことで、目標を達成できた。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(1)経営健全性の確保		
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 引き続き販売利益率の向上が必要なため、仕入れの適正化や販売管理を徹底し、売上の向上や経営の安定化を図る。				
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・厚利少売の経営方針の基、仕入れ内容について見直しを行い、販売利益率の向上に努める。 ・新商品の提案及び販売方法の改革(ギフト及びセレクト商品の展開、友好都市からの新商品の積極的な売り場展開等)を行う。 ・店外販売(JA東京むさし、東北物産展等との共同販売事業)を行う。				
③	指標名	SNSフォロワー数の拡大			目標値	300人
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:人)	150	200	219	昨年度から今年度にかけて、2度にわたるマネージャーの交代が発生し、情報発信が滞りフォロワー数が伸び悩んでいる。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 年間売上額や販売利益率の向上においては、新規顧客の獲得は必要だと考えられる。そのため、SNSを活用した広報に力を入れ、フォロワー数の増加を目指すとともに、新規顧客の獲得を図る。				
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 令和元年8月以降、SNSの更新が行われず、フォロワー数も伸び悩んでいる状態が続いている。新たな顧客の確保に向けて、SNSを活用した広報に努めるとともに、その他広報の取組みについても検討する。また、Facebookでの定期的な情報発信が軌道に乗り次第、他の媒体の活用方法についても、検討を行い、情報発信の拡大を図る。				